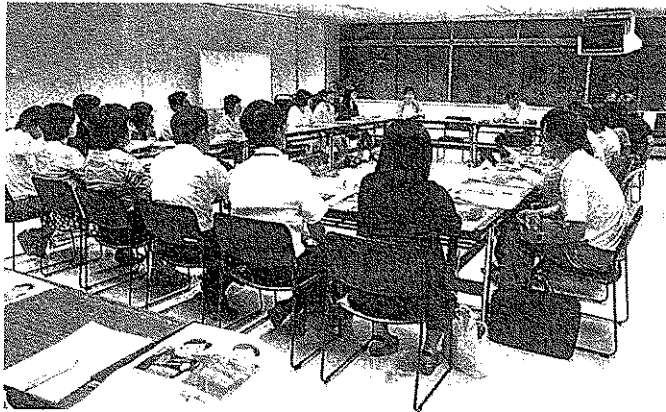


乳がん検診普及を

団体は県、岡山市、県医師会、県看護協会、県健康づくり財団、県診療放射線技師会、乳がん患者会、中四国の大学病院や総合病院でつくるNPO法人瀬戸内乳腺事業包括的支援機構などで構成。今年2月に発足した。

7月までに4回の会合を開催。10月の啓発活動を実行委(実行委員長・神崎寛子県医師会理事)方式で行うこととし、無料マンモグラフィー検診と相談会の開催▽県民公開講座の開催▽啓発のための岡山城ライトアップ―



といった具体的な企画を決めた。

国立がん研究センターなどによると、2011年に乳がんが見つかった女性数は全国で約7万2500人と推計される。ここ数年は女性のがんの中で1位が続いており、13年には約1万3千人が死亡した。

乳がんは早期に発見できれば5年生存率は90%を超え、機能温存や術後のQOL(生活

10月の乳がん月間にに向けて準備を進めるピンクリボン岡山実行委のメンバー

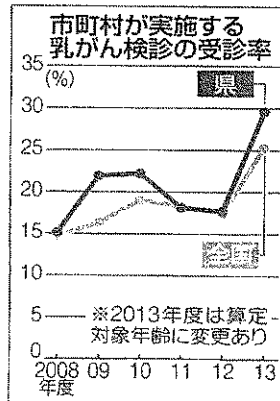
患者会などつくる「ピンクリボン岡山」

乳がんの正しい知識を広め、検診の受診率を向上させようと、県内の医療関係者や患者会らが団体「ピンクリボン岡山」を設立、10月の乳がん月間に初の啓発活動を計画している。県内では早期発見・治療の鍵を握る検診の受診率が伸び悩んでおり、無料検診や公開講座で関心を高めたい考えだ。(伊丹友香)

13年度県内受診率29.6% 10月に啓発活動

の質)の維持も可能とい。正しい知識の理解される。一方で市町村が実施する検診受診率は08年度以降、県内では20%前後と低迷。算定方法が変わった13年度は全国平均(25.3%)を上回ったものの、29.6%にとどまった。

団体名の「ピンクリボン」は、乳がんの早期発見キャンペーンの象徴として国内外で定着している。中心メンバーで岡山大病院乳腺・内分泌外科の土井原博義教授は「乳がん患者は子育てや仕事に追われる40〜50代に多



無料検診は10月4日 岡山、相談会も

ピンクリボン岡山実行委による無料マンモグラフィー検診、相談会が10月4日午前9時半〜午後3時、岡山市北区駅元町、岡山コンベンションセンターで開かれる。

検診の対象は、本年度に受診済み▽自覚症状がある▽経過観察中▽乳房の手術経験者▽妊娠・授乳中―のいずれにも該当しない40歳以上の女性。希望者は住所、氏名(ふりがな)、生年月日、電話番号、希望時間を書いて県健康づくり財団(086-246-16254)へファクス(086-246-16254)かメール(nature@orange.ocn.ne.jp)で申し込む。先着50人。

相談会は岡山大病院の土井原博義教授らが応じる。予約不要。

を促し、早期受診につなげたい」としている。

活動資金は寄付で賄う。問い合わせは岡山大病院内のNPO法人瀬戸内乳腺事業包括的支援機構事務局(086-2335-7266)。